

令和7年5月13日

令和7年度第2回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

令和7年度第2回教育委員会定例会会議録

日時 令和7年5月13日（火）
10時00分～11時35分

場所 教育委員会室

出席者
地頭所教育長
小屋敷委員
堀江委員
馬場委員
桶谷委員
中村委員

(事務局職員)

森 豊 副 教 育 長
紺 屋 教育次長兼生徒指導総括監
兼 廣 総 務 福 利 課 長
北 里 学 校 施 設 課 長
中 島 教 職 員 課 長
山 元 保 健 体 育 課 長
橋 口 社 会 教 育 課 長
泊 総 務 福 利 課 企 画 監
谷 川 教 職 員 課 人 事 管 理 監 (県立)
森 田 高 校 教 育 課 指 導 監
小 川 総 務 福 利 課 長 補 佐

議決事項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
議案第1号 予算外議案の 作成に関する知 事への意見申出 について	志布志高校校舎改築工事（建築 1工区・債務）に係る請負契約を 締結しようとする議案について、 知事に意見を申し出ようとするも のである。	特 記 事 項 な し	決 定
議案第2号 鹿児島県教育 職員免許状再授 与審査会委員の 任命について	令和7年4月1日付けで設置さ れた鹿児島県教育職員免許状再授 与審査会の委員を任命しようとし るものである。	特 記 事 項 な し	決 定
議案第3号 鹿児島県スポ ーツ推進審議会 委員の任命につ いて	鹿児島県スポーツ推進審議会委 員の辞任に伴い、その後任を任命 しようとするものである。	特 記 事 項 な し	決 定
議案第4号 鹿児島県立図 書館協議会委員 の任命について	鹿児島県立図書館協議会委員の 辞職に伴い、後任の委員を任命し ようとするものである。	特 記 事 項 な し	決 定

会 議 要 旨

1 開会

2 会議の公開等について

議案第1号から議案第4号まで及びその他(2)は、非公開で審議する旨教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 令和7年度第1回教育委員会定例会会議録について

令和7年度第1回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

4 その他

(1) 鹿児島県公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

— 鹿児島県公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について —

〈高校教育課指導監が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(小屋敷委員) 毎年出願倍率や受検倍率が1倍を切ることがよく話題になるが、出願者数を増やすための取組や受検倍率を高めるための取組を教えてほしい。

併願制など公立高校の入試の形態が多様化してきている現状があると思うが、どのように対応していくのか。

数学と英語の目安点以下の割合が、非常に高い印象を受けた。地区別に見ても数学で南薩地区が20%超え、英語で熊毛地区が18%という数値だが、高校教育課としてはどのように考えているか。

(高校教育課指導監) 受検倍率や出願者数を増やすための取組としては、現在、各学校が地域と連携しながら高校の魅力づくりに取り組んでいる。まだ中学校にうまく周知されていない部分もあるため、PR活動をしているところである。

また、昨年度、各高校の情報を検索できる「検索ガイド」も作成しているため、併せて活用してもらえるように努めている。

入試の併願制等を含めた改革については、昨年度、自己推薦を導入した結果、推薦入試の受検者数は倍増している。併願制は、メリットもあると思うが、様々な課題があると考え、国の動向を注視して参りたい。

数学及び英語の目安点以下の生徒が多い点について、数学は、出題の内容が若干難しかった部分もある。そのような点も含めて、今後問題を検討して行く必要があると考えている。

なお、各教育事務所や市町村教育委員会等と連携して、今後、小中学校への指導をしていく予定である。数学、英語の基礎的な部分をしっかり身につけた生徒、そして思考力、判断力、表現力等の資質能力を備えた生徒を育てていきたいと考えている。

(小屋敷委員) 出願者数を増やす取組や入試の多様化への対応は、今も取り組まれているし、今後も国の動き等に応じて対応していただい

らと思っている。公立・私立に関わらず、高校教育の充実を図っていただきたいし、それは県の教育委員会等がイニシアチブを取ってやれることなのではと考え、質問した。

また、数学、英語の目安点については、地区毎で少し差が出ている状況があるので、地元の教育委員会や教育事務所と連携しながら、弱点や苦手としている分野等について、指導をよろしくお願いしたい。

(馬場委員) 高校の検索ガイドの反響について、アクセス数や問い合わせの状況を教えてほしい。

また、目安点未満の割合に関して、数学の令和7年と令和4年度の数値が高いが、これは問題の形式や捉え方が変わったのか、例えば、内容自体は小中学校の基本的なものであっても、生徒たちが問題を理解しづらいものであったのか、伺いたい。

(高校教育課指導監) 「検索ガイド」については、高校に関する問い合わせがあれば、この検索ガイドを紹介して、学校のホームページに導くような形をとっている。県ホームページにも掲載しており、様々な形で利用、検索いただいている。また、1分動画のY o u T u b eにもリンクしており、件数は多くはないが、閲覧いただいているようである。学校によって閲覧数が異なる状況が見受けられる。この検索ガイドの中には、入試に関する内容も入れていたため、出願時期は出願の方法や県外からの受検について検索する生徒もいた。

数学の問題については、昨年度も思考力を問うような問題を出題していた。基礎的な問題は、ある程度できてはいるが、やはり文章が長くて、読解力を要する問題の正答率が低く、思考力を要する問題の正答率が低い状況があるので、文書が長かったことが要因の1つと考えている。

(馬場委員) 検索ガイドは、学校によってアクセス数が異なるのであれば、そのデータも見てみたい。

また、目安点に係る問題については、出題文章の長さについて今後は同様の形式でいくのか、もう少しわかりやすく短くしていこうと考えているのか、教えてほしい。

(高校教育課指導監) 読み取る力は、大事であり、学習指導要領に沿って進めているため、大きく変える予定はない。

(中村委員) 数学や英語は、大学受験において、国公立であれば文系も理系も必要科目になると思うし、私立の文系でも近年数学は必須になりつつある。我々社会人、会社を経営する立場でも数学は基礎の部分でもある。今回の数値が問題の傾向による異常値なのであれば、それはそれで良いが、小中学校の定期的な標準の学力調査等の結果との関連性も見ながら、逆に小中学校の学力調査から、今回のような結果や傾向がある程度予測できるのかどうかを含めて、全国との差、地域差がなくなるよう対策等に取り組んでいただきたい。

(高校教育課指導監) 学力・学習状況調査や学習定着度調査等を確認したところ同じ

ような傾向があるように感じている。

〈質疑終了〉

- 5 議案
議案第 1 号 予算外議案の作成に関する知事への意見申出について
(非公開)
- 議案第 2 号 鹿児島県教育職員免許状再授与審査会委員の任命について
(非公開)
- 議案第 3 号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について
(非公開)
- 議案第 4 号 鹿児島県立図書館協議会委員の任命について
(非公開)
- 6 その他
その他(2) 令和 6 年度県立学校職員の後期業績評価について
(非公開)
- 7 閉会